

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/15号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

7月CPI 8.5%でもインフレ対策継続

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



GDP、雇用統計と続いて、今度はCPI。先月発表の6月は9.1%という非常に高い数字になりましたが、7月の市場予想は8.7%、そして実際の発表となった数字は8.5%と市場予想を下回る数字となり、その瞬間ゴールドは1790ドルから1806ドルまで上昇、長期金利は2.8%から2.67%まで急落しました。これはインフレ率が下がったことにより、FRBの金利上げが緩やかなものになるのではないかと想像から、ドル売りが起こり、その逆に売られていた資産が大きく戻しました。しかし、1800ドル台のゴールドは続かず、利食いもありその後は1780ドル台まで下落、そこから1790ドル台での動きに終始となりました。マーケットでは、FRBの多くの理事たちが、まだまだインフレ対策の必要性を声高に主張し、8.5%であっても依然として非常に高いインフレ率であるとマーケットも再認識したのか、結局一日でCPI前のレベルまでマーケットは戻りました。今回のCPIの下げの大きな理由はエネルギー価格が下がったことであり、これは冬になると再び上昇する可能性が大きく、まだまだインフレは安心できる状況からほど遠いという認識が広がったと思われます。ただしドルだけはロングが重たかったのか戻りは鈍く、135円から132円に急落したドル円は週末は133.20近辺で終わりました。ゴールドは堅調、一週間の引けは1800ドルを超えて終わりました。土曜日早朝に発表されたCFTC Commitments of TradersによればComex Goldの投資家ポジションは前々週の87トンロングから164トンロングに増加、この一週間で77トン、その前の一週間と合わせるとほぼ200トンのゴールドが先物市場で買われたこととなります。インフレヘッジそしてリセッションヘッジとしてのゴールドの需要は底堅いと言えるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

ゴールド以外の貴金属-PGM7

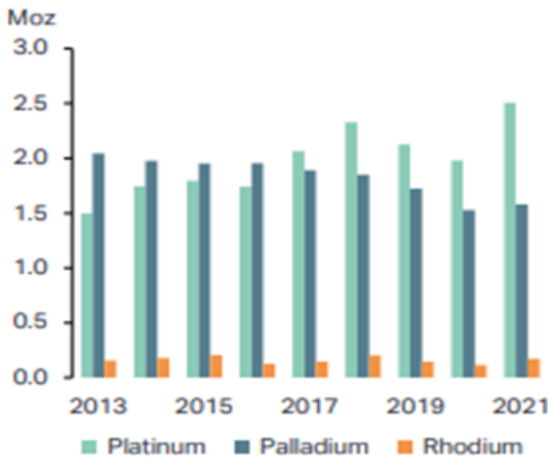
2. プラチナの需要

b. 産業用需要

自動車触媒以外の産業用需要は、2021年は78トンとなりこれは2020年以来の最大の数字になりました。その原因はガラス産業での需要が75%も大きく伸びたことにあります。これは2020年に予定されていた設備更新がパンデミック要因で2021年にずれ込んだことが主な要因でした。そのため2022年はこの需要は大きく減ることになるとみられています。そのため、2022年の産業用需要は65.6トンとパンデミック前の2019年とほぼ同じレベルになるとみられています。プラチナの産業用需要は、ガラス以外にも電子材、化学、石油、医療などの分野に主に触媒や、電極、高い融点を利用したるつば用いられています。

(PGMの産業用需要)

Global PGM Industrial Demand



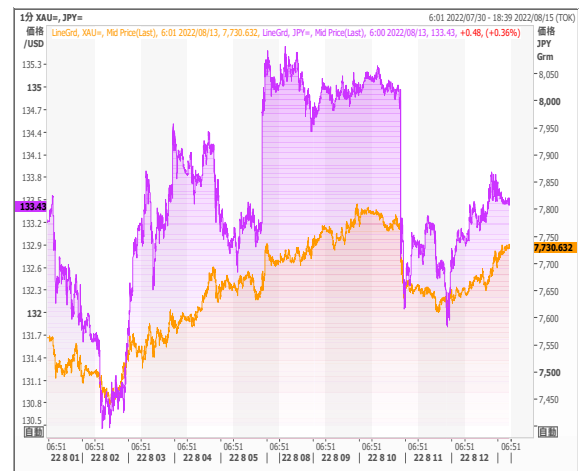
Source: Metals Focus



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

